

アルザス言語文化研究会 シンポジウム 2024

# 《書く》の諸相

日時: 9月17日(火曜日) 14:00 開始

会場: 東京大学駒場キャンパス 18号館 4階コラボレーションルーム 1

対面とオンライン (Zoom) によるハイブリッド開催\*

※諸事情により変更となる場合があります。Zoom 参加登録については後日改めてご案内いたします。

登壇予定者 (50音順, 敬称略):

岩崎拓也 (筑波大学, 日本語表記論・書記論)

木村規高 (筑波大学大学院, 文字学・彝文研究)

清沢紫織 (北海学園大学, 言語政策論・スラヴ語学)

アルザス言語文化研究会運営メンバー

- 作本大祐 (京都大学大学院)
- 杉浦黎 (東京大学大学院)
- 宮腰駿 (東京大学大学院)

昨年度アルザス言語文化研究会では、アルザス語の綴字法について共同研究をおこない、その成果を『発話言語学研究』第2号の<紹介>・<翻訳>において発表しました。上記の活動は、アルザス語の保全を担う組織であるアルザス・モーゼル言語文化事務所(OLCA)のウェブサイトでも紹介されました。

当研究会は、引き続き綴字法・正書法をはじめとした「書く」という行為について幅広い考察をすすめることを目的として、今回のシンポジウムを企画しました。ぜひご参加ください。



研究会ウェブサイト



OLCA 掲載記事

主催: アルザス言語文化研究会 (hopplalsace@gmail.com)

共催: 東京大学渡邊淳也研究室